

第108回全国高校野球選手権青森大会

上北連合 歓喜の夏1勝



上北連合（六ヶ所・七戸・野辺地・八戸野西・三戸恵拓）が、ロースコアのゲームを制し夏1勝を挙げた。9回1失点で完投し、10三振を奪った主戦の一ノ瀬波琉斗は「踏ん張るピッチングができた。競り勝つことができてうれしい」と勝利の余韻に浸った。

「エースナンバーを付けるからにはチームを勝たせるピッチングをしなければならぬ」。そんな覚悟を持って初戦に臨んだ。

主戦一ノ瀬 10K完投

「いい時に直球決まった」

制アウットにするなど、端々で堅実なプレーが光った。

野手陣も一ノ瀬をもち立てた。七回1死三塁のピンチでは、二ゴロを冷静に処理。飛び出した三走を本塁でタッチアウトにし、勝ち越しを許さなかった。一ノ瀬は「みんなの守備にも助けられた」と感謝を口にした。

打線はその裏、2死からランチャンスをものにした。一塁打の玉澤海人に続き、松浦侑希が左越え適時打を放ち勝ち越しに成功。松浦は「エースの背中を押す気持ちで打席に立つた」と胸を張った。

2回戦は八戸西が相手になる。一ノ瀬は「ちょっとしたミスが命取りになる。集中力を一段と上げて次に臨む」と意気込んだ。（中山瑞希）

「1回戦 柏農・五所工科」
上北連合 9回1失点、10奪三振の好投をみせた上北連合の一ノ瀬波琉斗（八戸野西）は六戸メイト